

# 令和7年度 本野小学校 学校自己評価報告書

\* 3. 4以上（太字）、3未満（太字、斜体）

項目 評 価	番 号	評 価 内 容	児 童	地 域	保 護 者	教 職 員	平 均	評 価	昨 年 度 平 均	増 減
や 徳 さ 育 し く	1	いじめや差別、不登校のない集団づくり	<b>3.66</b>	<b>3.64</b>	<b>2.91</b>	<b>3.64</b>	<b>3.46</b>	<b>A</b>	<b>3.42</b>	<b>0.04</b>
	2	あいさつ・言葉遣い(マナー)、規範意識(ルール)などの継続的な指導	<b>3.62</b>	<b>3.62</b>	3.09	3.36				
	3	道徳の時間を要として、教育活動全体を通した豊かな心を育む指導	<b>3.54</b>	<b>3.54</b>	3.23	<b>3.50</b>				
	4	個人面談・教育相談等を通した児童理解と親身な指導			<b>3.67</b>					
か 知 育 こ ー く	1	基礎・基本を身につけさせるために指導の工夫改善	<b>3.62</b>	<b>3.43</b>	3.09	<b>3.45</b>	<b>3.35</b>	<b>B</b>	<b>3.34</b>	<b>0.01</b>
	2	問題解決的な学習など、子どもを主体とした授業づくり	<b>3.42</b>	<b>3.40</b>	3.32	3.27				
	3	遅れがちで、個別に支援を要する子どもへの対応	3.34	<b>3.57</b>	<b>2.88</b>	3.27				
	4	学年に応じた家庭学習の習慣づけのための継続的な指導や励まし			<b>3.45</b>					
か し く ・ 体 く く	1	外遊びや体力づくりについての継続的な指導や励まし	<b>3.66</b>	<b>3.56</b>	3.03	3.18	<b>3.40</b>	<b>A</b>	<b>3.34</b>	<b>0.06</b>
	2	望ましい食習慣づくりのための給食指導を中心とした食育	<b>3.62</b>	<b>3.44</b>	3.29	3.30				
	3	健康増進のための望ましい生活習慣についての継続的な指導や励まし	<b>3.52</b>	<b>3.44</b>	3.27	<b>3.50</b>				
	4	各種連絡、家庭訪問、学級分会などによる家庭との相互理解・連携				<b>3.70</b>				
の 家 庭 連	1	各種発行物、ホームページ、メールなど、学習や諸活動の様子についての発信				<b>3.46</b>	<b>A</b>	<b>3.25</b>	<b>0.24</b>	
	2	家庭学習や家庭読書メディアコントロールについての継続的な働きかけ				<b>3.50</b>				
	3	季節に応じた掲示物の工夫など、温もりのある学習環境づくり				<b>3.40</b>				
教 育 環 境	1	施設の定期的点検と処置、日々の継続的な安全指導			<b>3.73</b>	3.24	<b>3.40</b>	<b>A</b>	<b>3.30</b>	<b>0.14</b>
	2	校舎内外の清掃、整理整頓、学校の美化			<b>3.71</b>	3.36	3.20			
	3	季節に応じた掲示物の工夫など、温もりのある学習環境づくり			<b>3.75</b>	<b>3.42</b>	3.20			
チ 教 職 ム 員	1	「どの子も愛し、どの子も伸ばす」教育愛と使命感を持った職務遂行				<b>3.64</b>	<b>A</b>	<b>3.17</b>	<b>0.30</b>	
	2	「同僚とともに研鑽に励む」意識での研修と授業実践								
	3	P T A活動等への協力と、「信頼される教師」であることへの努力				<b>3.40</b>				
子 供 の 姿	1	あいさつや思いやりの言動ができる「やさしく支え合い、思いやりのある子」					<b>B</b>	<b>3.44</b>	<b>-0.21</b>	
	2	授業・家庭学習に進んで取り組む「かしこく学び合い、確かな学力をつける子」								
	3	自他の命を大切にし、家族や地域を大切にする「たくましく高め合い、郷土を誇りに思う子」				3.23				
学 校 満 足 度	児	本野小学校は、毎日楽しく、いい学校だ。	<b>3.78</b>				<b>A</b>	<b>3.47</b>	<b>0.18</b>	
	地	本野小学校は、「地域が応援したい」いい学校だ。		<b>3.93</b>						
	保	本野小学校は、「子どもを通わせたい」いい学校だ。				3.35				
	職	本野小学校は、「働きがいのある」「働きやすい」学校だ。				<b>3.55</b>				

## ■自己評価のまとめ（分析・課題・対策等）

○ほぼ全ての項目で、前年度より平均値が高くなっている。評価も、前年度と比較してAが3個から6個が増えた。過去3年間と比較しても徐々に高くなっています。地域、保護者、教職員が学校のため、児童のためにそれぞれの立場で努力を続けた成果が表れていることが伺える。

○「学校満足度」については、前年比0.18増。特に地域については3.93と高く、学習発表会等の行事で子ども達の成長した姿への満足度が高いと思われる。

▲「やさしく」の1について  
保護者の評価が2.91（前年度3.13）と低く、児童・地域・教職員との数値に開きがある。いじめのない学校を目指して教職員や児童会で工夫した取組を実施してきたものの、保護者からの理解を十分に得られていない。

→子どもや保護者のSOSに耳を傾け、迅速丁寧な対応を継続していく。

▲「かしこく」の3について  
保護者の評価が2.88（前年度3.12）と低く、児童や教職員の数値との開きがある。校内研修を継続する中で、教職員による授業改善は図られており、子ども達も主体的に学習に臨んではいるが、保護者は子どものつまずきに応じた、よりきめ細やかな対応を望んでいる。

→教育課程や学習指導の在り方を再度見直し、本校の特性を生かした個に応じた指導を強化していく。

## ■学校関係者評価の意見

○子ども同士の仲の良さがうかがえる。子ども達がのびのびしている。あいさつをよくしてくれる。

○学習発表会では、子ども達がテーマについてよく調べ、工夫して発表されており、よかったです。

○本野地区の豊かな自然についても教えてほしい。

## ■対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

○子ども達が学校だけではなく地域でもマナーやルールを守れるよう、保護者や地域に協力を得ながら子ども達と一緒に育てていく。

○菊栽培については、今年度のような形で進めていけば、持続可能な取組として実施できる。菊祭りも、学習発表会としてのスタイルを継続していく。その際、本野地区の自然について学んだ成果も伝えていくようにする。